

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	佐藤 和文
部の運営方針	「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。 『確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを推進します。』 ○学校教育環境の充実 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境の充実を図ります。 ・布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、跡地利用の明確化、布佐小学校敷地内の赤道の整理、スクールバスの運行や駐車スペースの確保等について、市長部局とも十分に協議しながら進めていきます。 ・湖北小学校体育館の再建に向け、引き続き、解体工事を実施し、新築のための設計を行い、できる限り早く工事に着手することができるようにします。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように取り組みます。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 ○子どもがいきいきと輝く学校づくり ・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めます。各学校からの要請には、各学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行います。また、国や県の教育施策が反映されるよう、打合せや協議会等で教職員へ伝え、実践していきます。経験の浅い教職員には、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認しに行き、助言します。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修など、企画・運営していきます。 ・Q－U検査（W E B Q U）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ、食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・学校給食費については、市立小中学校に在籍する第3子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業を引き続き実施するとともに、子育て世帯への経済的負担軽減策として行っている、市立小中学校に在籍する第1子、第2子の児童生徒への学校給食費月額1, 0 0 0円の支援及び食物アレルギー等により毎食弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続していきます。 ・「小中一貫教育の推進」に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図っていきます。授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めていきます。 ・令和7年10月に、現在のI C T環境を更新します。「確かな学力の育成に向けたI C T環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なI C T環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるI C T環境を整備していきます。教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで教育活動の更なる充実と教育効果の最大化を図っていきます。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。園参観や学校参観、研修会を運営し、園児児童の姿について情報が共有できるようにしていきます。また、国や県の教育施策を理解し、園児児童の学びがつながるよう、カリキュラムでの連携の充実を図っていきます。 ・国や千葉県の示す部活動の地域移行については、地域の指導者として部活動支援員の配置を拡大していきます。我孫子市の実情等を十分に把握し、移行が適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、体制を整備していきます。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。 ・不登校対策を推進するため、教育支援センター・校内教育支援センターは一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え支援します。また、教育支援センター「かけはし」「ひだまり」を中核とした相談・支援体制をさらに充実させます。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できる

よう引き続き支援していきます。

○子どもの成長に応じた発達への支援

- ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。
- ・支援が必要な児童生徒とその保護者に対し、学校、家庭、子ども相談課等の関係機関と一層の連携を図り、支援するため教育相談センターの相談体制の充実に努めます。
- ・特別支援教育の充実を図るため、教育相談センターの専門職が学校と連携し、相談・支援体制を充実させます。
- ・療育・教育システムの充実と切れ目のない支援など子ども部及び健康福祉部との連携を強化します。

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	佐藤 和文
部の運営方針に 対する総合評価	教育総務部の運営方針に挙げた目標をおおむね達成することができました。 ○学校教育環境の充実 ・布佐中学校区の学校の在り方について、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行いました。 ・湖北小学校体育館の再建に向け、解体工事を実施するとともに、新築のための設計を完了させ、工事に着手しました。 ・教職員の長時間勤務の現状を鑑み、教職員が、さらに生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合えるよう「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」の見直しを行いました。（令和8年4月改定） ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施しました。 ○子どもがいきいきと輝く学校づくり ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めるとともに、各学校からの要請時には、学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行いました。また、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認し、経験の浅い教職員に、助言・指導を行いました。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修などを企画し、実施しました。 ・Ｑ－Ｕ検査（ＷＥＢＱＵ）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、結果に対する分析を行い、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援しました。 ・我孫子型地産地消推進協議会の協力のもと、学校給食での地産地消推進に努めるとともに、各校で「食に関する指導年間計画」を作成し、学校全体で食育を実施しました。 ・学校給食費については、物価高騰等による食材料費の増額に対応するため、増額分を学校に補助金として交付しました。また、市立小中学校に在籍する第3子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業の実施と併せ、第1子、第2子の児童生徒への学校給食費月額 1,000 円の支援及び食物アレルギー等により学校給食の提供を受けられず弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続して実施しました。 ・「小中一貫教育の推進」を推進するため、各中学校区で作成したグランドデザインの達成に向けた取組の支援とともに、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援しました。また、郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」等の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図りました。中学校区での取組では、小学校、中学校それぞれの授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めました。 ・ＩＣＴ環境を更新し、「確かな学力の育成に向けたＩＣＴ環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なＩＣＴ環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるＩＣＴ環境を整えました。また、教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで、教育活動の更なる充実と教育効果の充実を図りました。 ・幼保小連携では、園児たちが希望と期待をもって小学校に入学できるよう、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校が連携し、園児同士、園児と児童が「交流」と「カリキュラム」で連携を深めました。 ・部活動の地域展開については、部活動支援員の配置や、部活動顧問との協議などを進めるとともに、生涯学習部や関係団体等と連携を図りました。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進しました。 ・不登校支援を推進するため、教育支援センターを中心に、校内教育支援センター、学校、教育相談センター等と連携し、相談・支援の充実を図りました。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止に取り組みました。また、各学校や関係機関と連携し、ＳＯＳの出し方教育と相談体制の強化に重点を置き、安心できる学校づくりを支援しました。 ○子どもの成長に応じた発達への支援 ・就学支援制度などの活用を推進し、自立への支援を図りました。 ・教育相談センターでは、児童生徒や保護者からの相談内容に応じて学校や子ども相談課等の関係機関と連携し、相談体制の充実を図りました。 ・教育相談センターの専門職と学校の連携や特別支援教育に関する研修を行い、特別支援教育の充実を図りました。 ・子ども部及び健康福祉部との連携強化を図り、療育・教育システムの充実と切れ目のない支援体制構築に取り組みました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：教育総務部 総務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○第3期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行います。

○総合教育会議の開催に当たっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応します。

○子どもたちが安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、教育・学習環境の充実を図ります。

○老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、適正な教育環境の維持に努めます。

○布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、跡地利用の明確化、布佐小学校敷地内の赤道の整理、スクールバスの運行や駐車スペースの確保等について、市長部局とも十分に協議しながら進めていきます。

○湖北小学校体育館の再建に向け、引き続き、解体工事を実施し、併せて新築のための設計も進めていきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を概ね実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

○第3期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行いました。

○総合教育会議の開催に当たっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応することができました。

○子どもたちが安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、教育・学習環境の充実を図りました。

○老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、適正な教育環境の維持に努めました。

○布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行いました。

○湖北小学校体育館の再建に向け、解体工事を実施するとともに、新築のための設計を完了させ、工事に着手しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

学校施設の長寿命化改修等により、大規模及び中規模な工事が今後も続くことから人員の配置等を行う必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校施設の維持管理		
	担当部署名	教育総務部 総務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・ 概要	小中学校施設の点検を実施し適切に管理するとともに、老朽化が進む学校施設の改修や改築を計画的に行うことで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の充実を図っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	湖北小学校屋内運動場再建事業		
	指	小中学校施設維持管理（第四小、布佐南小、湖北台中、布佐中、久寺家中）		
	指	布佐中学校区における義務教育学校の新設		
継続費設定事業	湖北小屋内運動場解体工事 R6～R7年度、湖北小屋内運動場建設工事設計業務 R6～R7年度			
債務負担行為設定事業	小中学校空調設備賃貸借 H28～R8年度 1,500,000千円、中学校空調設備保守点検業務委託 R5～R10年度 22,188千円、布佐南小屋内運動場屋根、外壁及び電灯設備改修工事設計業務 R6～R7年度 5,831千円、湖北台中第2校舎屋上防水、外壁等改修工事設計業務 R6～R7年度 4,947千円、久寺家中屋上防水、外壁等改修工事 R6～R7年度繰越事業 220,440千円、久寺家中給食棟換気設備改修工事 R6～R7年度 33,154千円、久寺家中屋内消火栓設備等改修工事 R6～R7年度 36,674千円 久寺家中防災電気設備更新工事 42,196千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	469,544	112,988	令和5年度（年度末時点）		1.85	0.00
令和6年度	決算見込額	858,395	0	令和6年度（年度末時点）		2.40	0.00
令和7年度	当初予算額	445,383	235,873	令和7年度	4月1日時点	1.80	0.60
	補正後予算額	1,435,319	235,873				
	決算額	645,270	215,420		年度末時点	1.80	0.60
	次年度へ繰越	786,516	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	改修工事・修繕等維持管理校数	校	目標値		19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
成果 指標	大規模改修工事等完了校数	校	目標値			1	2	1	1	
			実績値			1	2	1		
成果 指標	便所等改修工事完了校数	校	目標値			1			1	
			実績値			1				
成果 指標	小中規模改修工事完了工数	校	目標値				3	1	1	
			実績値				3	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各事業とも予定どおり実施することができた。一部の事業（湖北小屋内運動場建設工事、湖北小屋内運動場機械設備工事、湖北小屋内運動場電気設備工事、我孫子第四小給排水設備等更新工事、我孫子第四小電灯設備更新工事、布佐南小屋内運動場屋根、外壁等改修工事、布佐南小屋内運動場電灯設備等更新工事、湖北台中中学校第2校舎ほか屋上防水、外壁等改修工事）は年度内に完了しないため、令和8年度へ継続、又は繰越した。また、布佐中学校区における義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行った。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各学校において施設の老朽化が進行しており、引き続き我孫子市学校施設個別施設計画に基づき改修工事を実施するとともに、修繕等を適切に実施することで学校施設の適正な維持管理に取り組んでいく。また、布佐中学校区における義務教育学校の新設に向けて、赤道の整理等、引き続き建設予定地の課題の整理などを行っていく。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：学校教育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・健康診断の実施と健康相談、歯科指導、感染症の予防等を通じて児童生徒及び教職員の健康保持と学校保健活動の充実を図ります。

・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検等を実施し、関係各課と連携しながら通学路の安全確保に取り組みます。

・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。食に関する指導を推進し、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。

・学校給食費については、学校給食費支援金、食物アレルギー等対応補助金により、子育て世帯への経済的負担軽減策を継続していきます。

・小中学生がいる家庭で、経済的理由により就学費用の支払いが困難な保護者に、就学費用の一部を援助していきます。

・安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、学校の備品を更新するなど、教育機材などの整備、充実に努めます。

・学校職員が心身ともに健康でゆとりをもって子ども達と向き合える時間を確保し、充実した教育活動に従事できるよう、業務改善及び教職員の意識改革などに引き続き取り組んでいきます。

・市内小中学校のボトムアップ型モラルアップを推進し、働きがいの向上や、不祥事防止に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取り組みを実施しました。

教職員の長時間勤務の現状を鑑み、教職員が、さらに生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合えるよう「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」の見直しを行いました。（令和8年4月改定）

また、10～3月分の我孫子産米含む学校給食用食材料費の上昇分として、追加の補助金（学校給食費負担軽減等補助金）を各小中学校へ交付しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標に示した取組は、概ね達成できました。

児童の泳力向上及び学校プール施設の維持管理費削減を目的に、市内13校全ての小学校の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

給食費については、令和9年度からの公会計化に伴い、これまでの学校給食費支援金や負担軽減補助金の趣旨を継続しつつ、令和8年度中にそれら制度（手法）を見直します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業		
	担当部署名	教育総務部 学校教育課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、 子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	教育機会の均等を図るため、小中学校への就学費用の支払いが困難な家庭を援助します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	104,759	0	令和5年度（年度末時点）		0.80	0.80
令和6年度	決算見込額	103,593	0	令和6年度（年度末時点）		0.80	0.80
令和7年度	当初予算額	131,511	0	令和7年度	4月1日時点	0.80	0.80
	補正後予算額	118,775	0				
	決算額	109,641	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	就学援助認定者数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,186	1,183	1,109	1,063	973		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで子どもの心と体の発達に応じた教育を推進することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで施策目的に寄与している。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校教育環境の充実
	担当部署名	教育総務部 学校教育課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	- 心身ともに健康な子どもたちを育み、確かな学力の育成を支援する授業の推進や、個に応じたきめ細かな指導のための環境づくりに取り組みます。 - 子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。 - 子どもたちの教育環境の充実に最優先に、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、小中学校の適正規模に関する検討を進めます。	
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（小学校の安全に寄与するボランティア体制の検討）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	スクールサポート教員の配置事業	指 水泳指導の民間活用
	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	学校経営アドバイザーの配置
	小学校の安全管理員の配置	
	小中学校管理運営事業	
	小中学校配置職員管理事業	
	小学校備品管理事業	
	中学校備品管理事業	
	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	381,272	0	令和5年度（年度末時点）	6.30 50.40
令和6年度	決算見込額	404,862	0	令和6年度（年度末時点）	6.30 52.60
令和7年度	当初予算額	487,927	0	令和7年度 4月1日時点	6.30 55.40
	補正後予算額	427,534	0		
	決算額	389,347	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	6.30 57.80

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	学校評価アンケートで、「楽しく学校生活を送っている」と回答した児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	90.0	90.0	89.4	90.0	92.3		
成果 指標	小中学校19校の備品管理執行状況	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	88.0	84.0	97.7	98.1	97.4		
成果 指標	通学路安全推進会議で出た危険箇所の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	89.0	70.0	100.0	94.7		
活動 指標	スクールサポート教員の配置数	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	12	12	11	12	13		
活動 指標	水泳指導の民間委託実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	1	3	8	11	13		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値に近い実績値の成果があり、子どもたちの教育環境や、安全・安心の学校環境の整備に寄与することができた。個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境を提供するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童・生徒の保健衛生事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するため、小中学校における食育及び歯科保健活動の充実を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童・生徒・教職員健康診断事業		
	我孫子市学校保健会運営		
	学校の環境衛生事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	44,371	0	令和5年度（年度末時点）	0.90 0.80
令和6年度	決算見込額	43,002	0	令和6年度（年度末時点）	0.90 0.80
令和7年度	当初予算額	46,755	0	令和7年度	4月1日時点 0.90 0.80
	補正後予算額	44,052	0		
	決算額	42,737	0	令和7年度	年度末時点 0.90 0.80
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	健康診断における尿検査の受診人数 （児童生徒 実施人数/在籍者数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99.0	99.0	98.7	98.8	98.7		
活動 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査の実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
活動 指標	小学校歯磨き食育指導を行った小学校	校	目標値	13	13	13	13	13	13	13
			実績値	13	13	13	13	13		
成果 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査基準値内校/全19校	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	79.0	94.7	73.7	89.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値を達成またはそれに近い実績値で活動することができ、児童・生徒・教職員の健康保持・増進や学校の環境衛生を適切に保つことで、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童・生徒・教職員健康診断事業や学校の環境衛生事業は、法で実施を定められている。また、歯磨き食育指導は子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校給食管理運営事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業		
	学校給食管理運営事業		
	給食施設維持管理		
	学校給食備品管理事業		
	小中学校給食調理業務の民間委託事業		
	指 学校給食費支援金		
	指 小中学校給食室空調設置事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	小中学校給食調理業務委託（6校分） R6～R7年度 164,296千円、学校給食用我孫子産米調達業務委託 R6～R7年度 9,936千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	692,895	0	令和5年度（年度末時点）	11.20 0.80
令和6年度	決算見込額	770,035	0	令和6年度（年度末時点）	11.70 1.80
令和7年度	当初予算額	676,766	0	令和7年度	4月1日時点 12.60 0.80
	補正後予算額	688,335	0		
	決算額	685,223	0		年度末時点 12.60 0.80
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	週あたりの我孫子産米の使用回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
活動 指標	食に関する指導を行っている学校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
成果 指標	我孫子産野菜の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	88.1	89.6	89.0	88.7	86.5		
成果 指標	我孫子産米の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	87.2	87.7	87.5	87.2	86.4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	どの活動内容も、目標値を達成または目標値に近い実績値で活動することができ、地域に根差した食に対する理解を深めることができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、今後も引き続き実施が必要である。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：指導課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めます。各学校からの要請には、各学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行います。また、国や県の教育施策が反映されるよう、打合せや協議会等で教職員へ伝え、実践していきます。経験の浅い教職員には、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認しに行き、助言します。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修など、企画・運営していきます。

・Q-U検査（WEBQU）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。

・「小中一貫教育の推進」に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図っていきます。授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めていきます。

・令和7年10月に、現在のICT環境を更新します。「確かな学力の育成に向けたICT環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なICT環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるICT環境を整備していきます。教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで教育活動の更なる充実と教育効果の最大化を図っていきます。

・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。園参観や学校参観、研修会を運営し、園児児童の姿について情報が共有できるようにしていきます。また、国や県の教育施策を理解し、園児児童の学びがつながるよう、カリキュラムでの連携の充実を図っていきます。

・国や千葉県を示す部活動の地域展開については、地域の指導者として部活動指導員の配置を拡大していきます。我孫子市の実情等を十分に把握し、移行が適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、体制を整備していきます。

・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。令和7年10月より第2次教育ICTがスタートとなり、環境整備における事前準備から導入後の運営においても適切に実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業を着実に推進したことで、概ね目標よりも高い成果を得ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

いじめ防止対策事業では、小中学生の利用が増加しているSNSにより些細な事からいじめに発展したりトラブルに巻き込まれたりすることがあるため、家庭におけるスマートフォン等の利用ルールの徹底など保護者の理解と協力を求めています。また、学校がいじめ解消に向けて迅速に対応できるよう連携していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学生非行対策		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進		
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・学校と連携して小中学生をめぐる現状を把握し、事故や犯罪に巻き込まれないよう啓発及び情報提供をしていきます。 ・警察と連携し、少年指導員とともに、帰宅指導や交通マナー遵守などの指導を行っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	少年センター業務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,627	0	令和5年度（年度末時点）		0.46	0.20
令和6年度	決算見込額	1,608	0	令和6年度（年度末時点）		0.58	0.20
令和7年度	当初予算額	1,972	0	令和7年度	4月1日時点	0.48	0.20
	補正後予算額	1,807	0				
	決算額	1,550	0		年度末時点	0.48	0.20
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	定例街頭指導の回数	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	12	15	15	15	15		
成果 指標	街頭指導における問題行動の認知件数	件	目標値	180	170	160	160	160	160	160
			実績値	202	130	139	335	218		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	学校等と連携し、犯罪等に巻き込まれないよう啓発を行うとともに、不審者情報についても、警察や関係機関、学校とその保護者に迅速に共有を図りました。また、少年指導員による街頭指導を予定通り実施しました。不審者情報で外国籍に係る報告が増えてきておりますが、重大な事件や事故がなかったことから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学校や少年指導員と密に連携し、多様化する犯罪等についても学校、少年指導員、関係機関、保護者と共有していることで、重大な事件や事故が起きていないため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもの育成を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学校支援事業の充実		
	我孫子市学校運営協議会		
	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進		
	部活動指導員の配置		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,040	0	令和5年度（年度末時点）	0.49 8.50
令和6年度	決算見込額	5,254	0	令和6年度（年度末時点）	0.72 8.50
令和7年度	当初予算額	4,505	0	令和7年度 4月1日時点	0.82 10.40
	補正後予算額	4,320	0		
	決算額	4,306	0	令和7年度 年度末時点	0.82 10.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の担当者研修会の実施回数	回	目標値	3	5	5	5	5	5	5
			実績値	3	5	5	4	5		
成果 指標	教育委員会主催の担当者研修会の満足度（参加者アンケート）	%	目標値	80	85	90	90	90	90	90
			実績値	80	90	94	98	94		
成果 指標	地域人材（学校支援ボランティア）の延べ活動回数	回	目標値	26,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	26,362	32,497	37,930	32,608	35,408		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。また、コミュニティ・スクールの研修会では、新たな試みも実施したこともあり、参加者から大変好評であったため、順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を問題なく実施し、成果も上がっているため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幼児期教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	育ちと学びの接続を重視し、豊かな人間性や社会性を育むため、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携、小中一貫教育を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	幼保小連携			
	小中一貫教育の推進			
	ふるさとカリキュラムの実施			
	キャリア教育の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,638	0	令和5年度（年度末時点）	1.29 0.00
令和6年度	決算見込額	4,025	0	令和6年度（年度末時点）	1.36 0.00
令和7年度	当初予算額	2,601	0	令和7年度 4月1日時点	1.29 0.00
	補正後予算額	2,601	0		
	決算額	2,494	0	令和7年度 年度末時点	1.29 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	幼保小連携地区別会議の実施	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10	10	10		
活動 指標	小中一貫教育だより「TUNAGU（つなぐ）」の 発行数	回	目標値	10	15	15	15	15	15	15
			実績値	10	50	43	42	32		
成果 指標	幼保小連携・接続の実践、交流回数	回	目標値	45	45	45	45	45	45	45
			実績値	28	53	70	91	63		
成果 指標	小中一貫教育の周知・理解度 （学校評価アンケートより）	%	目標値		80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績値		75.3	80.7	81.7	84.9		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	指標「小中一貫教育の周知・理解度」では、目標を達成していないものの、毎年増加しており、全ての個別事業について、当初の予定通り実施したことから順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事業としては、現状どおり推進していきますが、他の事業も含めた周知を図ったり、コミュニティ・スクールの推進と連携している部分を意識したりすることで、より効果的に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員資質向上推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,644	0	令和5年度（年度末時点）	1.08 0.00
令和6年度	決算見込額	2,984	0	令和6年度（年度末時点）	1.19 0.00
令和7年度	当初予算額	2,796	0	令和7年度 4月1日時点	1.19 0.00
	補正後予算額	2,796	0		
	決算額	2,563	0	令和7年度 年度末時点	1.19 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の課題別研修会の実施回数	回	目標値	9	9	9	5	5	5	5
			実績値	9	9	9	5	5		
活動 指標	校内研修会への指導主事派遣回数	回	目標値	150	150	160	80	80	80	90
			実績値	187	90	85	102	99		
成果 指標	教育委員会主催の課題別研修会の満足度（参加者へのアンケート）	%	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績値	98.2	98.7	99.0	97.8	98.3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	教員向けの研修会では、参加者から高い満足度が得られました。また、小中学校からの指導主事の派遣要請に対処することができました。そのため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	教員のニーズや課題等を把握し、研修会の内容を検討しながら引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	いじめ防止対策事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	教職員や少年指導員の研修会などを通して、近年増加しているいじめや生徒指導上の問題についての見識を深め、適切な対応ができるよう支援するとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組、子どもが気軽に相談できる仕組みづくりを進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 いじめ防止対策		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.36 0.70
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.46 0.70
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 0.46 0.70 年度末時点 0.46 0.70
	補正後予算額	81	0		
	決算額	63	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	いじめ防止対策委員会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
活動 指標	いじめに関するアンケートの実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
成果 指標	第2回いじめに関するアンケート結果に対する 取組後のいじめ件数の解消率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	98.8	99.4	97.8	98.0	97.8		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	いじめの解消率が100%ではないものの、いじめ防止対策委員会での専門家や保護者から意見聴取によつ適切な対応の検討やいじめアンケートによる実態の把握と追跡調査後も児童生徒の見守りを実施し、いじめの未然防止や解消につながったことから評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	いじめの未然防止、早期発見・早期対応による解消率100%に向け、引き続き関係機関や学校と連携して取り組みを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学力向上推進事業
	担当部署名	教育総務部 指導課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが未知の状況に対応する力や他者と協働して課題を解決する力を育めるよう、子ども達の自主性・自発性を重視した教育を推進します。	
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級経営の支援	
	学力向上推進事業	
	学校図書館活用の推進	
	小中学校体育・文化活動事業	
	国際理解教育の推進	
	子ども議会	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	学級経営の支援：WEBQU（学級経営サポートシステム使用 令和5年度～令和8年度 13,740千円） 学力向上推進事業：（標準学力調査業務委託 令和7年度 8,818千円）	

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	36,600	0	令和5年度（年度末時点）		1.91	17.31
令和6年度	決算見込額	42,377	0	令和6年度（年度末時点）		1.66	17.31
令和7年度	当初予算額	48,088	0	令和7年度	4月1日時点	1.61	17.31
	補正後予算額	46,666	0				
	決算額	43,990	0		年度末時点	1.61	17.31
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	標準学力調査の結果分析研修会を実施した小中学校の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	小学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	100	100	100	100	101		
成果 指標	中学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	103	102	100	101	101		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。また、全ての小中学校で標準学力調査を行い、その結果を分析して児童生徒の指導に生かしています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童生徒の学力の定着状況を把握し、学校生活における各種授業（体育・文化活動・子ども議会等）の取組みを支援するとともに、児童生徒への教育指導の充実を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校 I C T 教育の推進	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、I C T の環境整備と活用に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	小中学校コンピュータ教育の推進		
	第2次教育 I C T の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	小中学校コンピュータ教育の推進（第1次教育 I C T 業務委託 平成31年度～令和7年度 715,350千円）（校務支援システム使用 令和4年度～令和7年度 8,047千円）第2次教育ICTの推進（第2次教育ICT業務委託 令和7年度～令和12年度 2,779,821千円）		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	159,942	0	令和5年度（年度末時点）		1.03	0.80
令和6年度	決算見込額	306,318	0	令和6年度（年度末時点）		0.76	0.80
令和7年度	当初予算額	466,331	0	令和7年度	4月1日時点	0.85	1.30
	補正後予算額	465,823	0				
	決算額	465,733	0		年度末時点	0.85	1.30
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の情報教育に関わる研修会	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	8	8	6		
成果 指標	学習でのパソコン活用の満足度（児童生徒へのアンケート）	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	94.5	95.2	96.3	96.7	96.0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	情報教育に関わる研修会を充実し、児童生徒の学習でのパソコン活用の満足度も高いことから順調を評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	第2次教育 I C T がスタートし、学習活動の一層の充実を図るとともに、情報モラルも含めた児童生徒の利活用を高めてまいります。

課の目標管理書

課 名：教育相談センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 教育・発達相談事業を推進します。子どもの健やかな育ちを支えるために、支援が必要な子どもと保護者の相談に対応し、学校をはじめ関係機関と連携していきます。

2. 特別支援教育を推進します。教育支援委員会の適切な運営と就学支援の充実を図ります。教育相談センターアドバイザー派遣事業、巡回事業、教職員研修等を通じて児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を進めます。特別支援教育コーディネーター・特別支援学級担任の支援については、校内委員会の充実、個別の教育支援計画・指導計画の作成及び活用の充実を図れるよう支援します。また、個別の教育支援計画・指導計画の目標達成のため、学級支援員を派遣し、教員と児童生徒を支援します。

3. 療育・教育システム連絡会を通じて関係機関との連携を深め、切れ目のない支援体制の構築を図ります。

4. 長期欠席児童生徒対策事業を強化します。教育相談センター及び教育支援センターが、学校と協力し、多様な学びの場の確保に努めます。教育支援センターと校内教育支援センターの職員の連絡会や研修会を通じて連携を深め、子ども達が安心して学びの場を選ぶことができる体制を整えます。また、家庭や学校と連携し、心の教室相談員（在宅訪問指導員）等の活用により、一人ひとりの状況に応じた支援を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

全ての個別事務事業を問題なく実施し、相談に係る事業は満足度が高くなり、概ね順調であると評価しました。長期欠席児童生徒対策事業では、指定事務事業でもある校内教育支援センターの全校設置が完了し、不登校率の減少傾向が見られ、子ども達の安心した居場所となっています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き事業を着実に推進します。また、全校設置が完了した校内教育支援センタ及び教育支援センター（かけはし・ひだまり）の充実に取り組めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自分らしい学校生活を送るための教育支援	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・特別な支援を要する児童生徒の就学相談や一人ひとりの状況に応じた特別支援教育の取組を推進します。 ・児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう、引き続き、各学校に学級支援員などを配置し、児童生徒、保護者、教職員からの相談を通して支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級支援員派遣事業		
	教育相談センターアドバイザー事業		
	教育相談・発達相談事業		
	就学相談事業		
	児童・生徒からの悩み相談ホットライン		
	特別支援教育推進事業		
	教育相談センター巡回事業		
	教育支援委員会の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,811	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 49.28
令和6年度	決算見込額	2,207	0	令和6年度（年度末時点）	2.60 41.85
令和7年度	当初予算額	2,353	0	令和7年度	4月1日時点 2.40 50.38
	補正後予算額	2,216	0		
	決算額	2,056	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	2.40 49.95

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	アドバイザー派遣率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100		
活動 指標	教育・発達相談、就学相談対応件数	件数	目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値		3,475	2,976	4,145	3,824		
成果 指標	アドバイザーの支援が役に立った率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	91.0	94.0	91.0	93.7		
成果 指標	教育・発達相談継続ケースの利用者の満足度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	94.4	85.3	94.4	100.0	91.2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	相談件数の増加や相談内容が多様化する中で、必要な人員確保は課題ではあるものの、事業全体としては迅速に対応できました。満足度は100%からやや下がったものの、高い満足度を得られていることからほぼ順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も各事業を問題なく実施するため、事業を支える人員体制の確保に継続して取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員研究論文の作成支援			
	小中学校教師用教科書及び指導書の配付			
	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,456	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.26
令和6年度	決算見込額	55,844	0	令和6年度（年度末時点）	1.00 0.26
令和7年度	当初予算額	41,624	0	令和7年度 4月1日時点	1.10 0.00
	補正後予算額	41,131	0		
	決算額	41,127	0	令和7年度 年度末時点	1.10 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	論文作成にあたり指導した回数	回	目標値		6	6	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
成果 指標	論文作成指導を受けた満足度	%	目標値		100	100	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
活動 指標	社会科副読本の編集会議実施回数	回	目標値		4	4	4	4	4	4
			実績値		4	4	4	4		
活動 指標	社会科副読本の配布	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	社会科副読本の令和8年度改訂に向けて各小学校から1名ずつ担当者を招集し、編集作業を進めました。より児童が学びやすく、郷土愛を育める副読本になるよう案を出し合い、作成委託事業者とともに副読本を改訂し、各小学校へ配付しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会科副読本担当者会議を実施し、デジタルブックの活用、評価問題の作成・活用など、各校でより充実した授業を行うための手立てを検討、実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	長期欠席児童生徒対策事業	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	長欠対策事業		
	教育支援センター（かけはし・ひだまり）の運営		
	指 校内教育支援センターの設置		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	712	0	令和5年度（年度末時点）	1.60 19.38
令和6年度	決算見込額	746	0	令和6年度（年度末時点）	1.60 21.13
令和7年度	当初予算額	771	0	令和7年度	4月1日時点 1.60 23.96
	補正後予算額	782	0		
	決算額	748	0		年度末時点 1.60 23.96
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	心の教室相談員兼在宅訪問指導員相談件数	件数	目標値		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値		5,504	6,003	5,694	6,230		
活動 指標	学校連携、児童生徒保護者への対応件数	件数	目標値		300	900	900	900	900	900
			実績値		841	617	409	277		
成果 指標	不登校率	%	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績値		4.9	5.2	5.5	4.9		
成果 指標	教育支援センター（かけはし・ひだまり）に登室している児童生徒の出席率	%	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値	23.4	31.0	40.0	39.8	46.7		
成果 指標	校内教育支援センターに登室している児童生徒の出席率	%	目標値			60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値			64.7	64.5	64.0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	校内教育支援センターの設置により、教育支援センターの学校連携や児童生徒保護者への対応件数は減少していますが、これは学校の中での体制作りの成果であり、各個別事務事業は問題なく実施できたためほぼ順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	校内教育支援センターの全校設置が完了したため、今後は校内教育支援センターの内容の充実、教育支援センターの機能強化に取り組みます。